

令和 7 年 9 月 26 日

市政記者クラブ 様

健康福祉局健康部健康増進課

担当：中島、永井

電話：291-4764

令和 7 年度名古屋市精神障害者家族交流事業「晴れときどき虹」の開催について

本市では「精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築の推進」における「家族支援」に資する取り組みとして、精神障害者の家族のピアサポートの力を活用し、精神障害者の家族を支援する取り組みをおこなっています。

この度、NPO 法人名古屋市精神障害者家族会連合会との共催により、標記交流事業を行いますので下記のとおりご案内いたします。

この交流事業は、精神障害のある方のご家族にとりまして、同じ立場のご家族が多くいらっしゃることを知り、同じ悩みのある方同士で悩みを分かち合い、支えあう機会となることを目的として実施しています。この事業が悩みを抱える多くの方へ届くよう、広報周知にご協力を頂きますようお願いいたします。

精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築の推進とは

精神疾患は全ての人にとって身近な病気であり、精神障害の有無や程度にかかわらず、誰もが地域の一員として安心して自分らしい暮らしをすることができるよう、地域住民の協力を得ながら本市域の地域保健医療福祉の一体的な取組を推進し、地域共生社会の実現に向けて、必要な調整を行うものです。

記**事業概要**

日 時	令和 7 年 10 月 26 日（日）午後 1 時 00 分から（開場 0 時 30 分）
会 場	吹上ホール 7 階メインホール
内 容	○第一部 オープニング（ハープ・フルート演奏） ○第二部講演会 ・テーマ「発達障害とニューロダイバーシティ」※ ・講師 大村豊さん （平安通クリニック（北区）院長） ・その他詳細は別添 A4 チラシをご参照ください



※ニューロダイバーシティ（Neurodiversity、神経多様性）とは、「脳や神経、それに由来する個人レベルでの様々な特性の違いを多様性と捉えて相互に尊重し、それらの違いを社会の中で生かしていこう」という考え方であり、特に、自閉スペクトラム症等といった発達障害において生じる現象を、能力の欠如や優劣ではなく、「人間のゲノムの自然で正常な変異」としてとらえる概念でもあるとされています（経済産業省ウェブサイト「ニューロダイバーシティの推進について」より抜粋）。